



NISHIDA

CORPORATION

NISHIDA TEKKO CORPORATION

RECRUITING GUIDE



水と人の関係を築き、 豊かな未来を創造する。

毎日の暮らしの中に水と人との優しいコミュニケーションをつくること。未来を担う子どもたちに豊かな自然と快適に生活できる環境を残すこと。それらをかたちにするために、独創的なアイデアや先進的な取組みで挑戦し続けるフロンティアスピリットを持ち、これまでに培った豊富な経験と技術力で応えていく。これが、私たち西田鉄工です。



Water

西田鉄工の使命

水害の脅威から人々の生活を守る。様々な営みに豊かな水を供給する。水辺を整備し、美しく、楽しい環境を創造する。このような水事業に携わる私たちが、今一番重視しているのが、水そのものを含めた自然環境との共生です。これまで培ってきた経験や技術を、製品機能の進化のためだけでなく、水辺の生き物たちへの思いやりや自然景観への配慮などに活かすこと。それが西田鉄工の使命だと考えます。

企業テーマ

「技術の向上」と「社員の成長」



Frontier Spirit

活躍のフィールドは日本全国。 営業から、設計、施工、 アフターフォローまですべて関わる。

治水・利水設備の工事入札に関わる情報を収集し、基本計画を元に設計、決定した後は製造、施工、引き渡し、アフターフォローまで、すべてのことに関わるのが営業職です。ダムや河川ゲート設備など、工事に関する専門的な知識はもちろん、日々変化する社会情勢にアンテナを張り、そこから確かな情報を収集していく能力や、クライアントとのやりとりなど、コミュニケーション能力が求められる職種です。



陣鎌 伸也

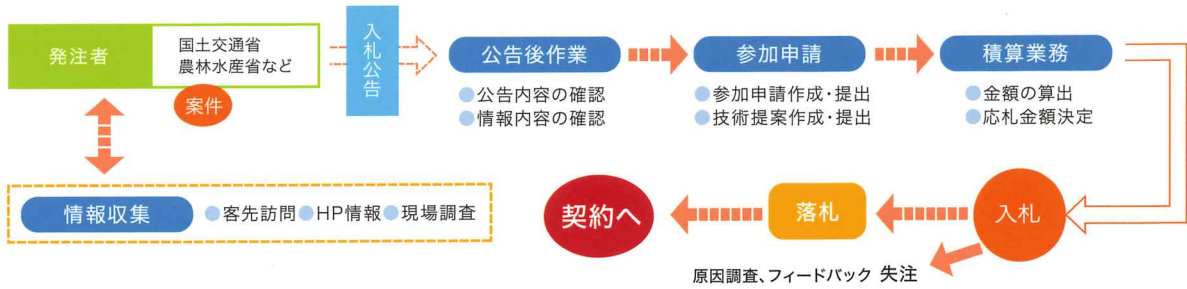
関東支店 営業部 / 2000年入社
熊本県立大学 総合管理学部 総合管理学科 修了

人を守り、財産を守り、 そして農作物を守る。 後世の発展に貢献できる仕事。

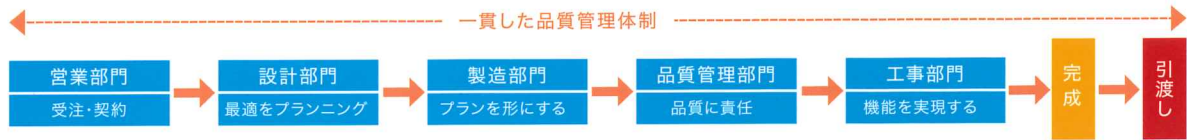
大学時代はマーケティングなどを中心とした広告論を専攻。工学系の高校出身なので、ある程度機械の知識はあったものの、ほとんどは仕事をしながら、経験を積みながら、覚えていきました。私たちの仕事は官公庁発注の公共事業のため、入札行為での受注となります。そのため、0か100の世界。情報の取り方によっては失敗もありうるので、そこが難しいところだと思います。以前、現場調査を行い、独自のアイデアを盛り込んだ仕様を発注者やコンサルへ提案し、採用までこぎ着けた物件がありましたが、結果、最後の入札方式を把握していなかったことで失注という苦い経験をしました。ただ、この物件では上司や先輩たちから指導を受けながら、営業の良い面、悪い面を経験することができました。発注者や地元のニーズを正確に把握して、しっかり提案できる営業をめざす私にとって、この経験は自分自身の基礎となっています。自分が売り込んで、受注して、設計・施工まで見届けた設備が、人命を守り、財産を守り、そして生活に関わる農作物を守る様子を目の当たりにすると、この仕事をやって良かったと実感できます。しかも、経験を積みば積むほど、そんな物件が増えてきますし、施工後もメンテナンスで長くつきあっていくこととなります。暮らしを守るために必要な設備に関わることで、後世の発展に貢献できていることを誇りに思える仕事です。



発注までの営業の仕事



受注後の仕事の流れ



軽快なフットワークで、 競合他社との差別化。 営業の機動力を活かす。

入社前は建設業についての知識は全くありませんでしたが、据付工事現場での半年間の研修で、道具一つひとつの名前から、工事全体の流れについて概要をとらえることができました。私の場合は特殊で、新人からあまり現場で長く研修することはないと思いますが、この現場での経験がその後の仕事に大いに役立っています。公共事業の入札は、予算を出すためにほぼ仕様が決まっているため、設計などで競合他社との差別化を図るのは正直難しいものです。ただ、西田鉄工の強みは、営業の機動力です。据付工事が終わった後も、不具合やメンテナンスの依頼があれば、すぐに飛んでいくように心掛けています。この細やかな配慮こそが、クライアントとの信頼関係につながると 생각합니다。営業に必要なのは「信頼」と「情報」。信頼関係を築くために、定期的に訪問し直接お会いして話を伺うことを続けています。情報収集は簡単ではありませんが、継続的な訪問により得るものも多いと思います。また、新聞やネットでニュースのチェックは怠りません。どんな小さなニュースでも、工事につながる情報が隠されていると思ってものいくらいです。おそらく皆さんが想像する営業職とずいぶん違うと思いますが、ひと言で西田鉄工の営業の魅力を伝えるならば、最初から最後まで見届けられること。関わる時間は長いですが、仕事の達成感はその分大きいと思います。



高野 信雄

関東支店 営業部 / 1997年入社
熊本学園大学 経済学部 国際経済学科 修了



土木、機械、電気、化学… 幅広い知識が求められる 設計のプロフェッショナル。

ダムや河川のゲート設備、排水機場などに設置する除塵設備といった、水に関する設備の設計を行います。国や県などの基本計画を元に図面を作成し、関係各所への調整、部品の手配・製造、生産管理・検査、据付までの一連の作業を、一貫して管理します。クライアントや関係各所の要望を聞き取りながら、工事全体を円滑に進めるための調整役としての重要な役割を担っています。



原口 裕史

本社 設計グループ / 2004年入社
熊本大学大学院 自然科学研究科 土木工学専攻 修了

得意分野を持ちながら 幅広い知識を吸収できる 技術者が理想です。

「設計」の仕事というと、CADで図面をひいている姿がイメージされると思いますが、私たちの仕事はそうではありません。西田鉄工が取り扱う治水・利水事業のための設備は、ほとんどが公共事業です。予算を出すために設計や細かな仕様が決められており、その基本計画をベースにクライアントの要望を聞きながら、工事を円滑に進め、なおかつ品質を保てるように“うまくいく道筋”を事前に整えることが仕事です。時には現場監督として現場に立つこともあります。そのため、土木はもちろん、鋼材などの材料、設備を動かす機械、動力となる電気など、幅広い知識が求められますし、どんな状況下でも対応できる柔軟性も必要です。設計グループの中には、大学時代に化学を専攻していた人もいます。学生までにどんな知識や技術を身につけるかがすべてではなく、得意分野を持ちながら、そこから仕事を通していろんな知識を吸収できる人材が理想だと思います。私自身、土木工学科専攻ですが、入社した後で経験として得た知識や技術がほとんどです。繁忙期は2、3件同時進行することもありますし、とても大変な仕事です。しかし、設計したものが実際に動いて、人の役に立っていることを目の当たりにできるので、仕事のやりがいも大きいです。これからの時代は、改修工事が多くなると予測されるので、不測の事態にも対応できる瞬発力のある技術者が求められるでしょう。



西田鉄工の仕事は、人の生活に
欠かすことの出来ない水を安定的
に供給すると共に、その脅威
から暮らしを守ること。

水門事業でトップクラスの実績
を誇る私たちが、今、重要視して
いるのは人と水の調和を第一に
考える親水や、水辺を活用する
ウォーターフロント開発といった
水と人との共生。豊富な経験と
高い技術力、常に新しいものへ
挑戦し続ける向上心、そして一貫
した管理体制による品質と適応
力の高さを誇る私たち西田鉄工
だからこそできること。

それは、人のため、社会のため、
環境のため、そして未来のために
豊かな水文化をつくること。

水のスペシャリストとして、
ウォーターフロンティア企業とし
て、私たちはこれからも水と共に
歩み続ける。

 **西田鉄工株式会社**

お問い合わせ先 | 〒869-0494 熊本県宇土市松山町4541
TEL 0964-23-1111 (管理本部/採用担当)

URL <http://www.nishida.co.jp/>